

下鬼柳 17 地割地内試掘調査業務委託

調 査 報 告 書

令和 3 年 12 月

北 上 市

北 上 試 錐 株 式 会 社

目 次

第 1 章 調査概要	P 1
1.1 調査目的	P 1
1.2 調査内容	P 1
1.3 発注者	P 1
1.4 受注者	P 1
1.5 調査位置案	P 2
第 2 章 調査結果	P 3
2.1 試掘調査	P 3
2.2 ボーリング	P 5
2.3 まとめ	P 6

<付図および写真集>

調査位置平面図 (1 葉)
ボーリング柱状図 (1 葉)
試掘作業写真
ボーリング作業写真
KBM 写真

調 査 名 下鬼柳 17 地割地内試掘調査業務委託
調 査 場 所 北上市下鬼柳 17 地割地内
調 査 期 間 機械ボーリング：令和 3 年 11 月 2 日～11 月 4 日（外業期間）
 試 掘 調 査：令和 3 年 11 月 15 日～11 月 16 日（外業期間）

第 1 章 調 査 概 要

1.1 調査目的

本調査は、下鬼柳 17 地割地内の市所有地における盛土の種類および分布状況を調べることを目的として実施した。

1.2 調査内容

- (1) 機械ボーリング 1 箇所 5.0m（オールコア）
- (2) 試掘調査 10 箇所（バックホー0.45 m³）

1.3 発 注 者

北 上 市

1.4 受 注 者

北上試験株式会社

TEL：0197-71-4303

FAX：0197-71-4301

1.5 調査位置案内図

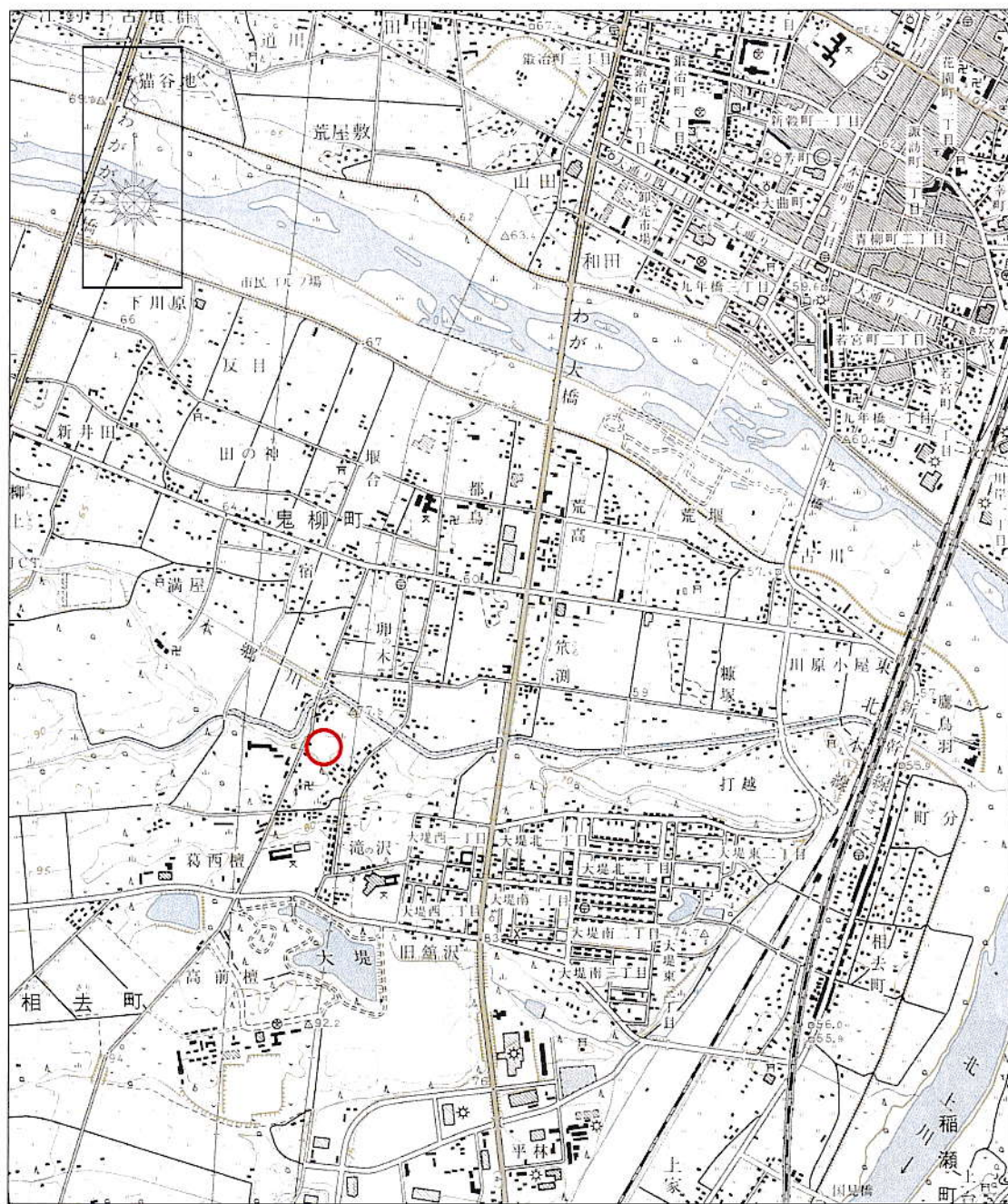


図 1.1 調査位置案内図

○：調査地

第2章 調査結果

2.1 試掘調査結果

TP-1；掘進長＝1.50m、盛土深＝1.15m

礫混り土砂主体で、長径 90 cm 大の礫が混在する。

TP-2；掘進長＝1.90m、盛土深＝1.15m

礫混り土砂主体で礫径 10～25 cm 大の礫が混在する。

鉄筋コンクリート片、ビニール片、木片等が少量散在する。

TP-3；掘進長＝1.50m、盛土深＝1.05m

礫混り土砂主体で礫径 10～25 cm 大の礫が多数混在する。

長径 50～90 cm 大のアスファルト片や鉄筋コンクリート片が散在する。

TP-4；掘進長＝1.25m、盛土深＝0.65m

盛土深は 0.65m と浅いが表層部に長径 1.0～1.5m 大の礫が多数混在する。

TP-5；掘進長＝1.80m、盛土深＝1.40m

礫混り土砂主体で地表部より 50 cm～1.0m 大の礫が多数混在する。

TP-6；掘進長＝3.05m、盛土深＝3.00m

礫混り土砂主体で大礫の混在は少ない。

木の根、塩ビ片、デリネータ片、アスファルト片が多少散在する。

TP-7；掘進長＝2.25m、盛土深＝1.80m

礫混り土砂主体で大礫の混在は少ないが、50 cm 大のアスファルト片が散在する。

TP-8；掘進長＝1.40m、盛土深＝1.30m

礫混り土砂主体で礫径 40 cm～70 cm 大の礫が混在する。

TP-9；掘進長＝2.25m、盛土深＝1.75m

礫混り土砂主体で 30 cm～長径 1.0m 程度の礫が多数混在し、掘削面にも 70 cm 大の礫が視
見される。長さ 80 cm 程度の電柱片が散在。

TP-10；掘進長＝22.60m、盛土深＝2.20m

礫混り土砂主体で 30 cm～50 cm 大の礫が多数混在し、掘削面にも長径 1.2m 程度の礫が視
見される。

ボーリング；掘進長＝5.00m、盛土深＝2.90m

表 2-1 試掘調査一覧

地点	地盤高 KBM±0.00m	掘進長 (m)	盛土境 KBM±0.00m	盛土深 (m)
TP-1	+1.04	1.50	-0.11	1.15
TP-2	+1.04	1.90	-0.11	1.15
TP-3	+0.92	1.50	-0.13	1.05
TP-4	+1.29	1.25	+0.64	0.65
TP-5	+1.16	1.80	-0.24	1.40
TP-6	+0.84	3.05	-2.16	3.00
TP-7	+0.23	2.25	-1.57	1.80
TP-8	+1.74	1.40	+0.44	1.30
TP-9	+1.48	2.25	-0.27	1.75
TP-10	+1.09	2.60	-1.11	2.20
Bor	+1.29	5.00	-1.61	2.90

2.2 ボーリング調査結果



標 尺 m	標 高 m	層 厚 m	深 度 m	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位 m / 測定月日
1					砂礫(盛土)	黒灰			礫径10~30mmの円礫主体。 コア長200~250mmの大礫散在。 層内は不均質。	2.00
3	-1.61	2.90	2.90		砂質シルト	暗灰~暗青灰			旧表土相当で有機物や腐食物を混在。 層内は非常に不均質。	
4	-2.31	0.70	3.60		粘土混り砂礫	暗青灰~暗茶褐			礫径10~30mm程度の円礫主体。 構成礫種は安山岩類、凝灰岩類および堆積岩類が主体。 マトリックスは粘土混り砂。	
	-3.26	0.95	4.55		砂質シルト	茶褐~青灰			砂質を帯びる。 層内はほぼ均質。 含水および粘性は中位。	
	-3.71	0.45	5.00							

ボーリング柱状図

2.3 まとめ

調査地の盛土は、全体に礫混り土砂主体で 30 cm～最大 1.0m前後の大礫が多数混在する。

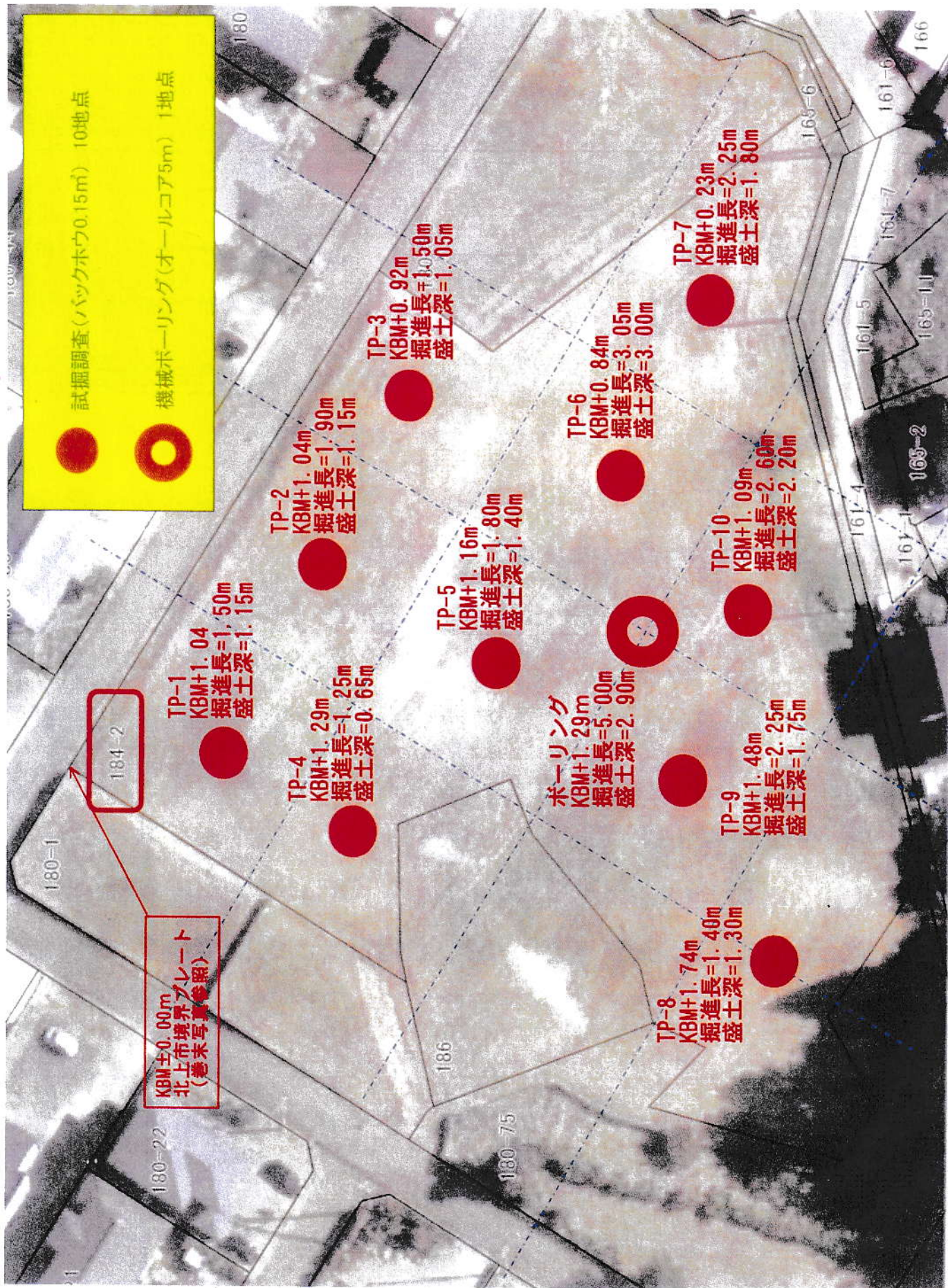
また、多少ではあるが鉄筋コンクリート片、アスファルト片、塩ビ管片、ビニール片、デリネータ片、電柱片、木根、木片等が散在していることが確認された。

ボーリング地点では、盛土層で 20～25 cmの礫が確認されたが、礫は扁平で寝るような状態と考えられることから、確認した礫の長さの 2～3 倍（40 cm～75 cm）、の可能性がある。

盛土境の標高は TP-4 が+0.64m、TP-8 が+0.44mに対し TP-6 が－2.16mとなっており、造成以前は西から東に緩やかな傾斜地地形を呈していたと推定される。

以上

調査位置平面図 (1 葉)



ボーリング柱状図 (1 葉)

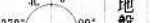
ボーリング柱状図

調 査 名 下鬼柳17地割地内試掘調査業務委託

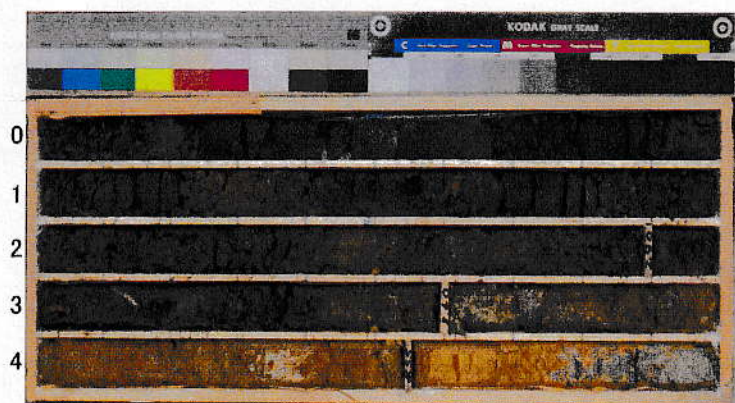
ボーリングNo.

事業・工事名

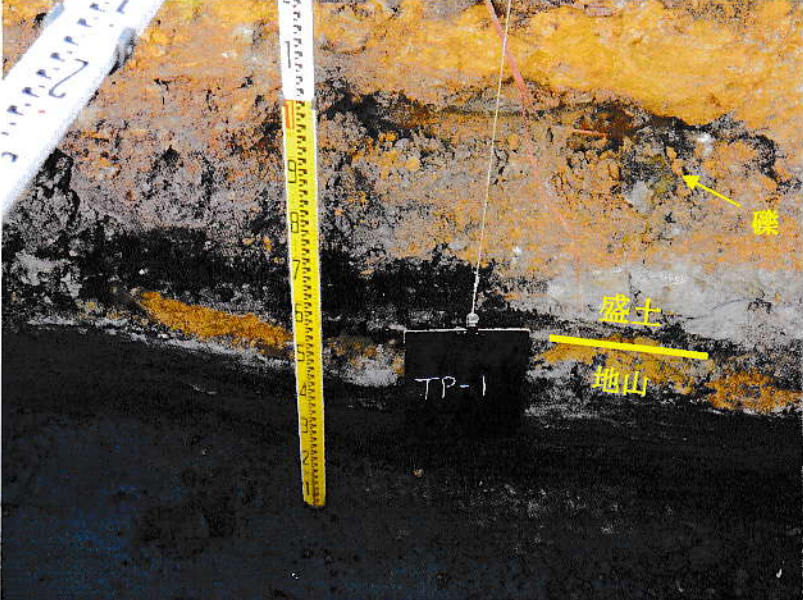
シート No. _____

ボーリング名	B-1			調査位置			北上市下鬼柳17地割地内			北 緯		
発 注 機 関	北上市			調査期間			2021年11月2日～2021年11月4日			東 経		
調査業者名	北上試験株式会社 電話 (0197-71-4303)			主任技師			小菅利定			ボーリング グ責任者		
	コ ア 鑑定者			新洲正夫			藤原雅史					
孔口標高	KBM +1.290m	角 180° 上 90° F 0°	方 向							使用機種		
総掘進長	5.00m	度		地盤勾配			試 錐 機			カノKR100H-3		
							エンジン			ヤンマー-NFD-9		
										ハンマー 落下用具		
										ポン プ		
										半自動落下装置		
										カノV5-P		

標高	標厚	層厚	深度	柱状	土質	色相	相対	相対	記	標準貫入試験			原位置試験 試験名 および結果	試料採取 深度	採取 方法	室内試験 ()	掘進 月日
										10cm毎の 打撃回数	N	値					
尺	m	m	m	図	分	調	度	度	事	孔内水位m / 測定月日	深 度 m	打撃回数 0 10 20 5 5 5 10 20 30	貫入量 cm	0 10 20 30 40 50 60	m	深 度 m	
1					砂礫 (埋土)	黒灰			礫径10~30mmの円礫主体。 コア長200~250mmの大礫散在。 層内は不均質。	2.00							
2																	
3	-1.61	2.90	2.90		砂質シルト	暗灰 ～ 暗青灰			旧表土で有機物や腐食物を混在。 層内は非常に不均質。								
4	-2.31	0.70	3.60		粘土混り砂礫	暗青灰 ～ 暗茶褐			礫径10~30mm程度の円礫主体。 構成礫種は安山岩類、凝灰岩類および堆積岩類が主体。 マトリックスは粘土混り砂。								
	-3.26	0.95	4.55														
5	-3.71	0.45	5.00		砂質シルト	茶褐～ 青灰			砂質を帯びる。 層内はほぼ均質。 含水および粘性は中位。								



試掘作業写真

	TP-1 施工前
	TP-1 掘進長 1.50m
	TP-1 盛土深 1.15m 掘削面に大礫が視見。



TP-1

礫混り土砂に長径 90 cm 大の礫混在。



TP-1

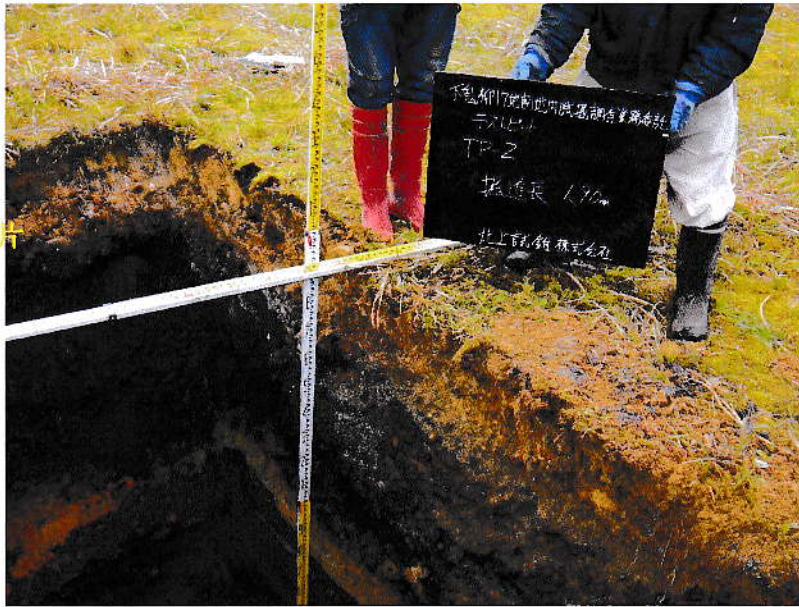
施工後



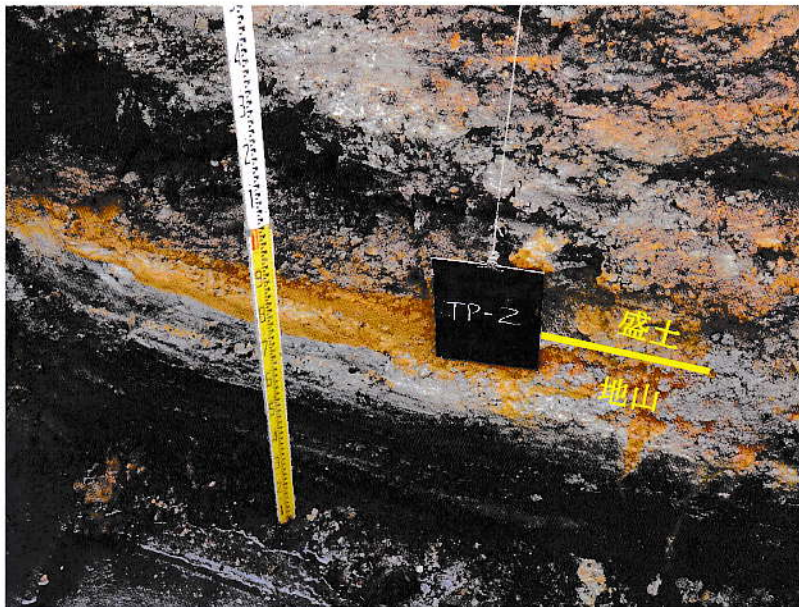
TP-2

施工前

ビニール片



TP-2
掘進長 1.90m



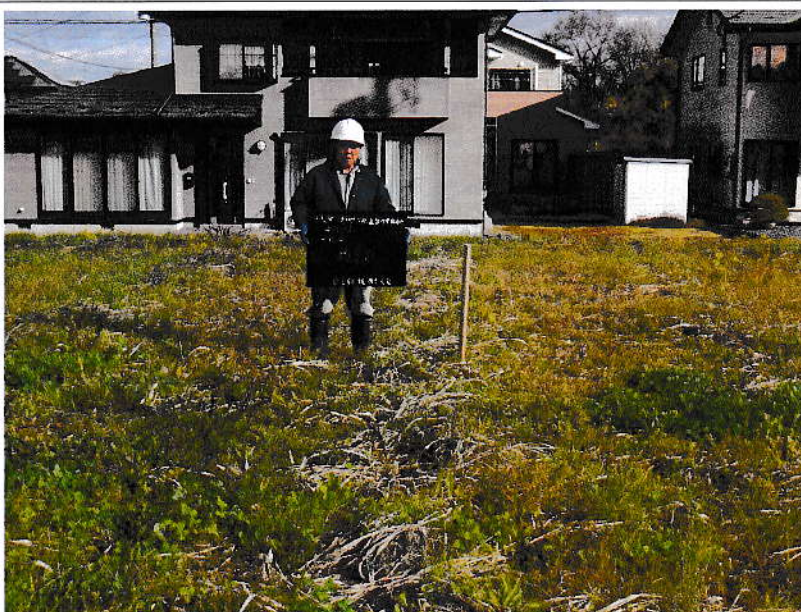
TP-2
盛土深 1.15m



TP-2
礫混り土砂主体。
鉄筋コンクリート片、ビニール片、木片等少量散在。
大礫の混在少ない。



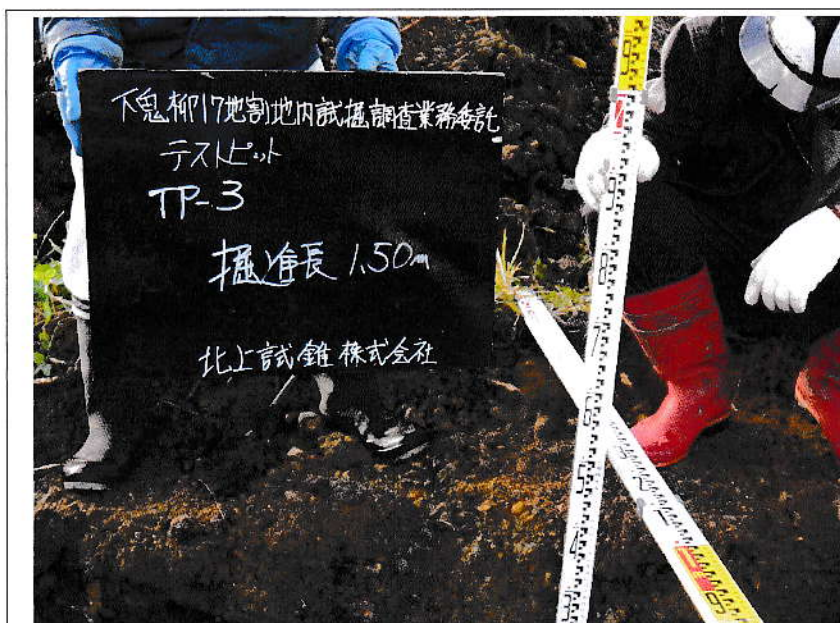
TP-2
施工後 ✓



TP-3
施工前



TP-3
掘削中



TP-3
掘進長 1.50m



TP-3
盛土深 1.05m



TP-3
長径 90 cm大のアスファルト片および鉄筋コンクリート片散在。



TP-3
施工後



TP-4
施工前



TP-4
掘削中
表層部に大礫混在。



TP-4

掘進長 1.25m

表層部に大礫多数混在。



TP-4

盛土深 0.65m



TP-4

長径 1.5mの大礫。



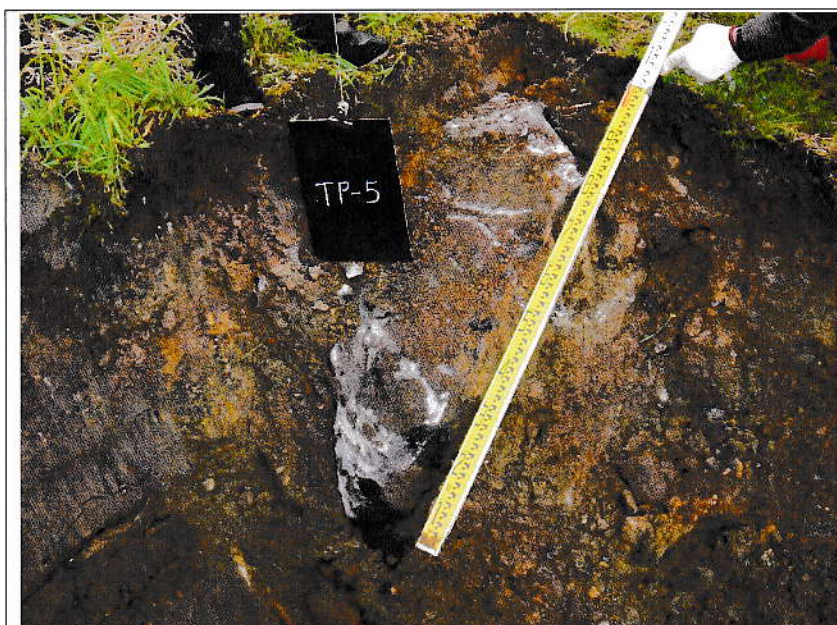
TP-4
施工後



TP-5
施工前



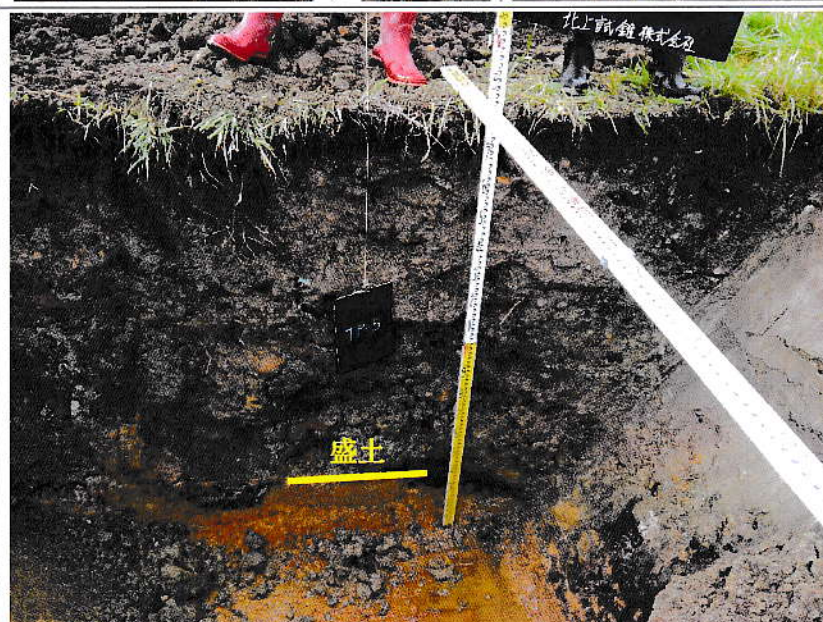
TP-5
掘削中
表層部に大礫混在。



TP-5
表層部に長径 1.0mの
大礫混在。



TP-5
掘進長 1.80m



TP-5
盛土深 1.40m



TP-5

礫混り土砂主体。

長径 1.0mの大礫混在。



TP-5

施工後

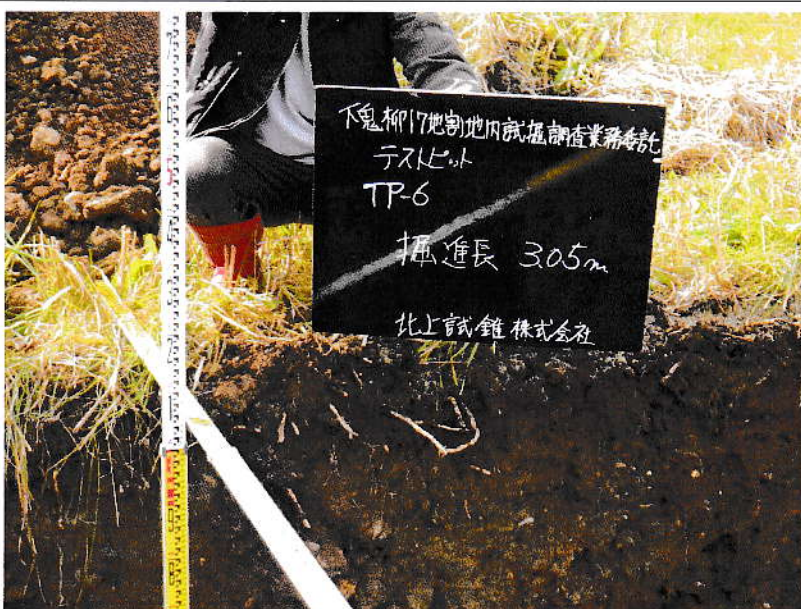


TP-6

施工前



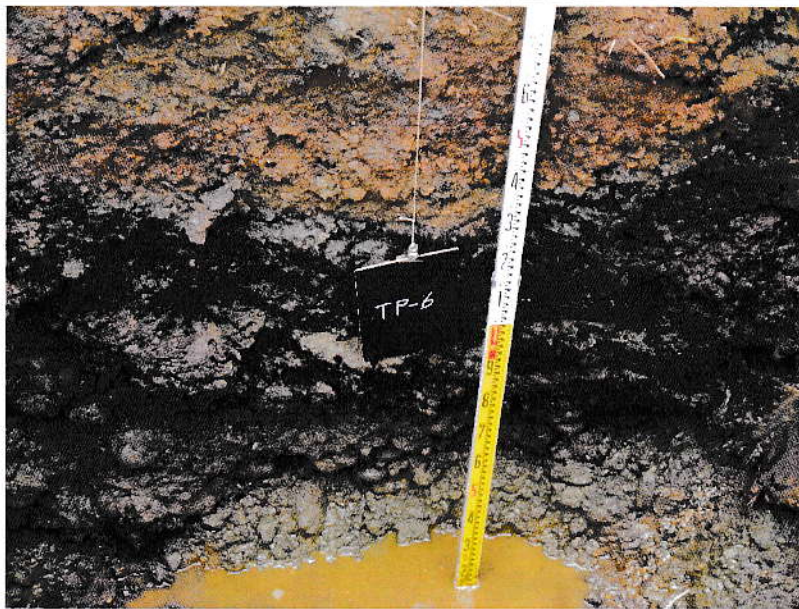
TP-6
掘削中



TP-6
掘進長 3.05m



TP-6
盛土深 3.00m



TP-6

たまり水の流入により盛土境は確認できないが地表より 3.00m。



TP-6

木根、塩ビパイプ、木片、デリネーター、アスファルト片等を散在。



TP-6

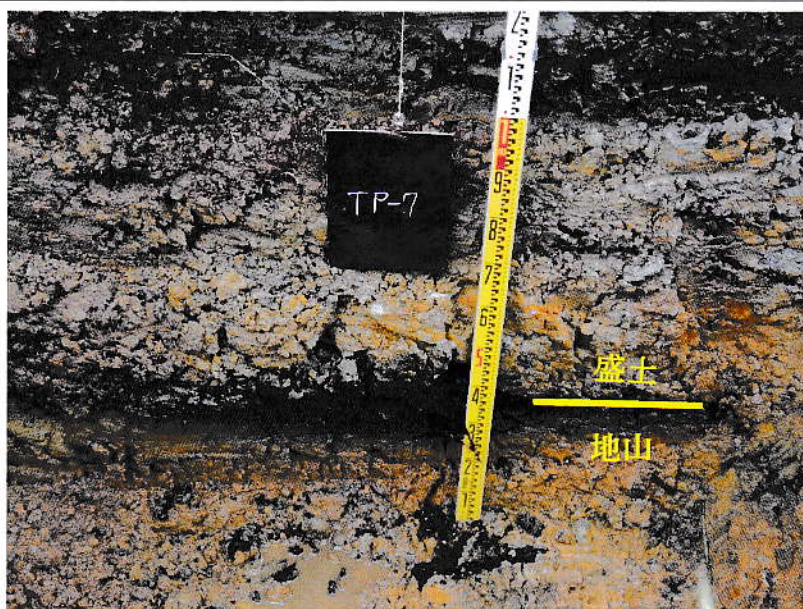
施工後

	TP-7 施工前
	TP-7 掘削中
	TP-7 掘進長 2.25m



TP-7

礫混り土砂主体。

掘削面にビニール片が視
見。

TP-7

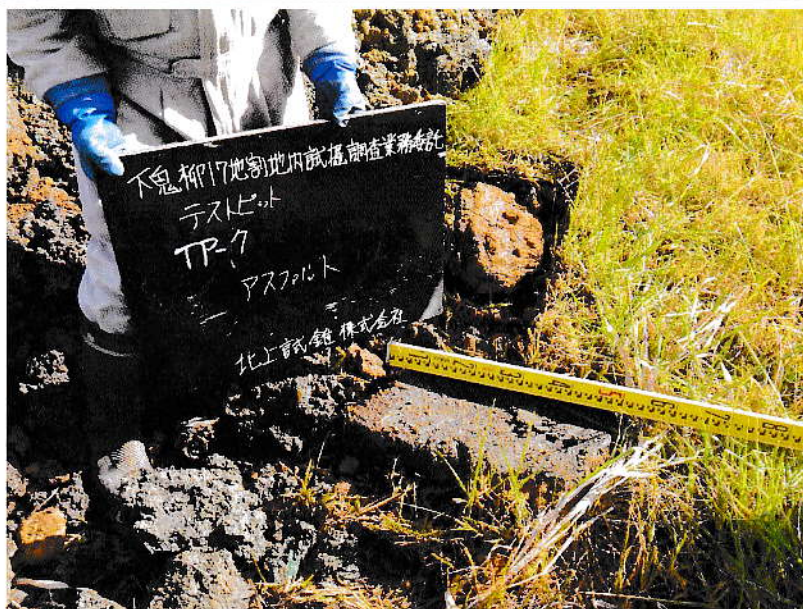
盛土深 1.80m



TP-7

礫混り土砂主体。

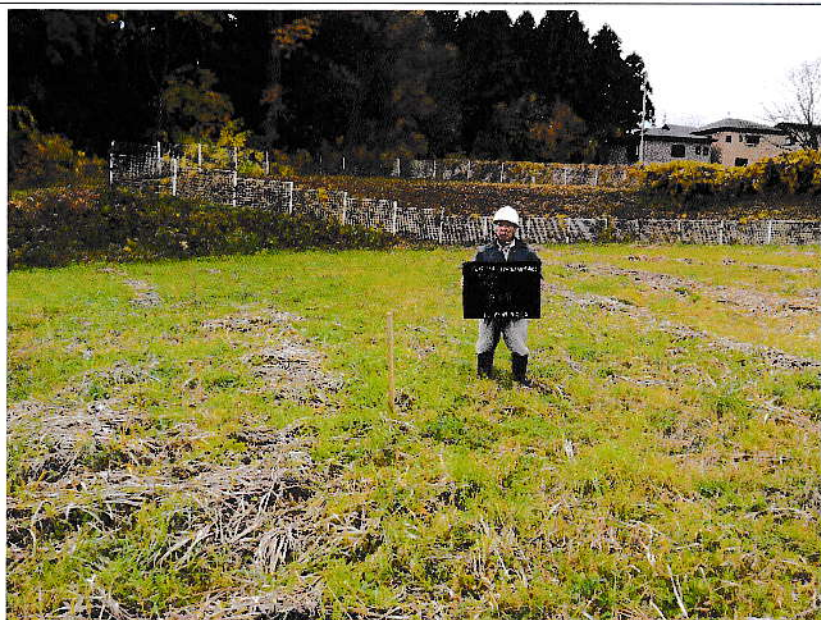
大礫の混在少ない。



TP-7
アスファルト片散在。



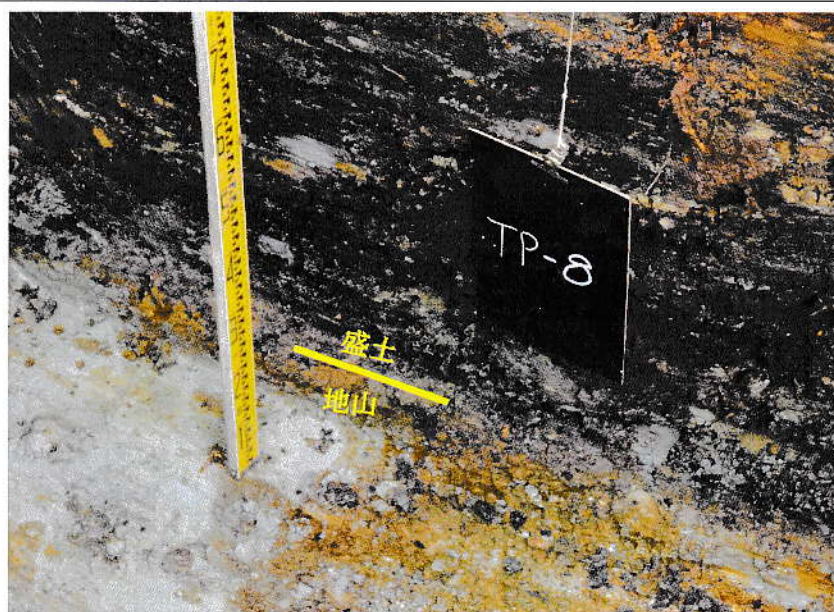
TP-7
施工後 /



TP-8
施工前



TP-8
掘進長 1.40m



TP-8
盛土深 1.30m



TP-8
礫混り土砂主体。
長径 70 cm大の大礫混在。



TP-8
施工後



TP-9
施工前



TP-9
掘進長 2.25m

**TP-9**

たまり水の流入で盛土境は確認できないが盛土深は1.75m。

**TP-9**

掘削面には長径 90 cm大の大礫が視見。

**TP-9**

50 cm～1.1m程度の大礫を多数混在。



TP-9

大礫多数混在。
電柱片を散在。



TP-9

施工後

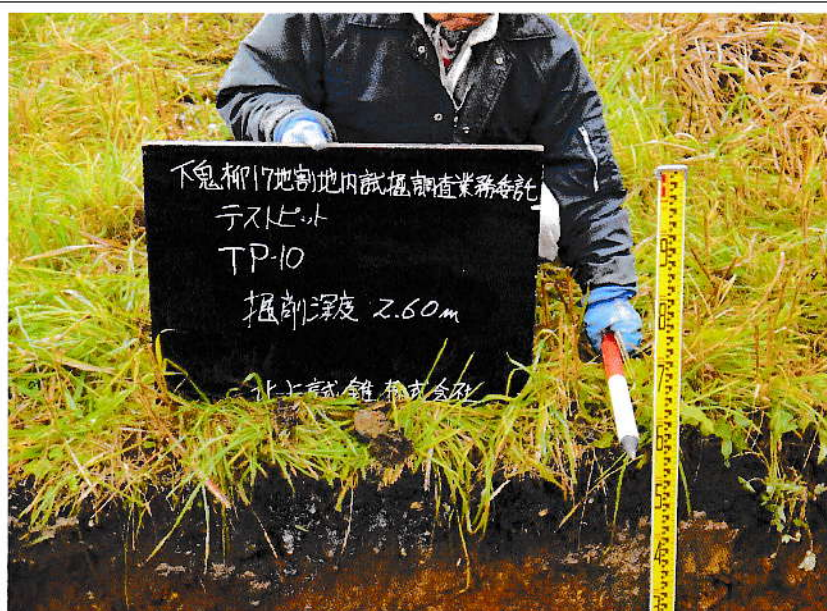


TP-10

施工前



TP-10
掘削中



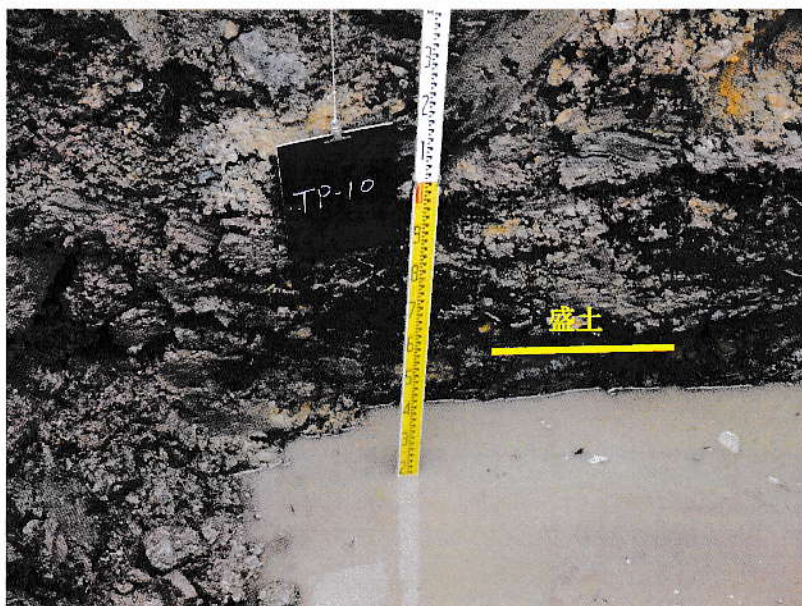
TP-10
掘進長 2.60m



TP-10
掘削面には長径 1.3m
程度の大礫が視見。



TP10
礫混り土砂主体。



TP-10
埋土深 2.20m



TP-10
長径 30 cm~90 cm大の
大礫多数混在。

	TP-10 大礫多数混在。
	TP-10 施工後

ボ ー リ ン グ 作 業 写 真



施工前



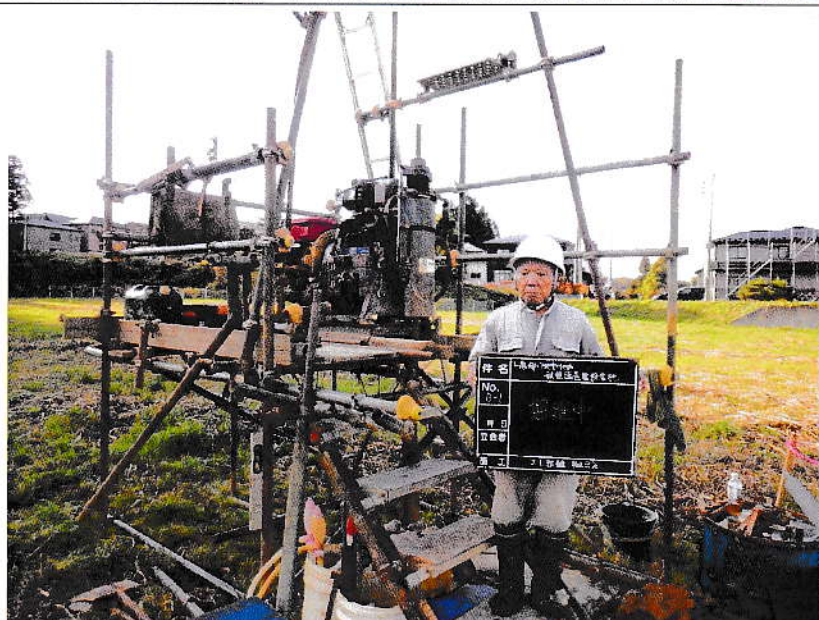
資材運搬状況



足場仮設状況



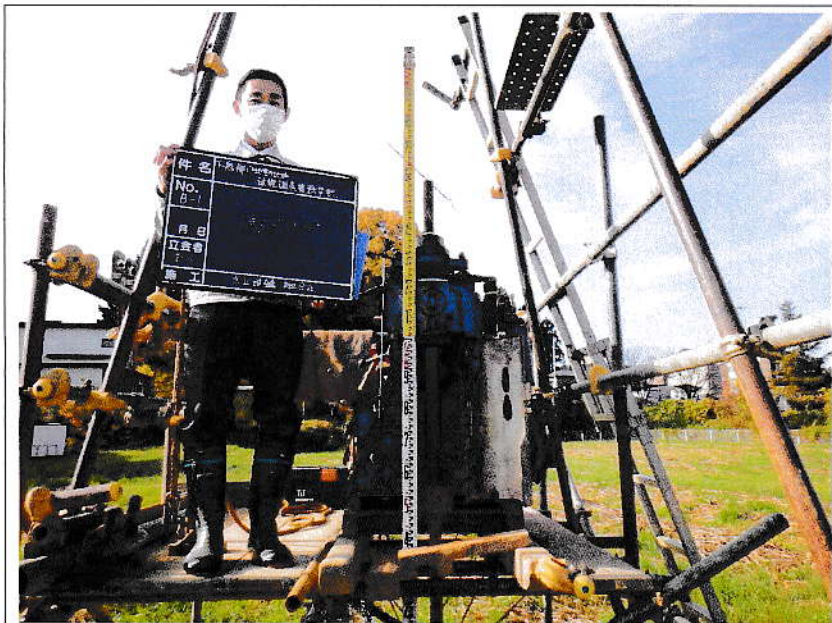
調査地全景



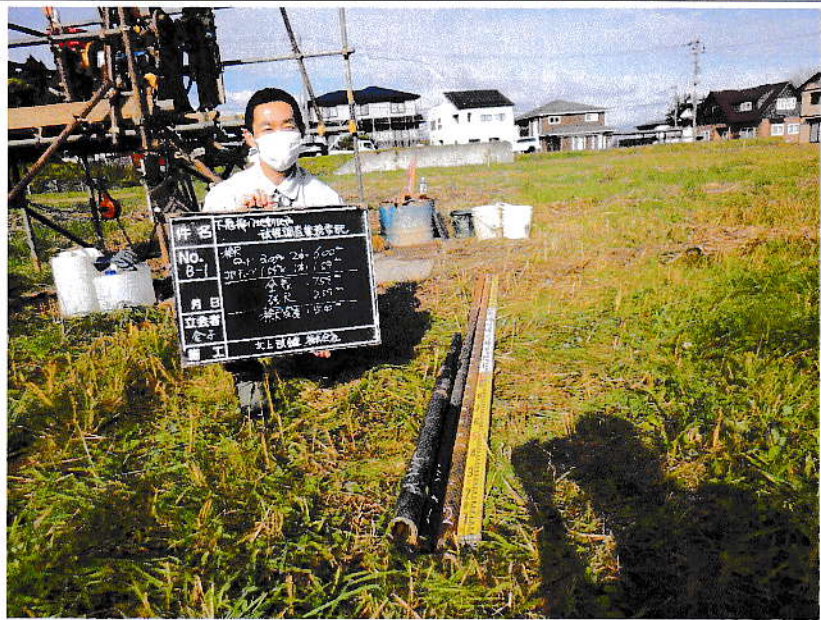
掘進中



残尺 (2.59m)



残尺 (近景)



検尺 (5.00m)



施工後

K B M 写 真



KBM ± 0.00m
北上市の境界プレート
を KBM とした。



KBM



KBM
後方が試掘現場